

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 一級河川の緑川の左岸中流域から下流域に広がる広大な水田地帯の一角。米・麦・大豆の土地利用型作物が中心。
- 農家の高齢化、後継者不足や、耕作農地の点在、作物毎の団地化が不十分といった課題。

【支援内容・背景】

- 大規模化によるスケールメリットを享受しやすい地区であり、将来の担い手の確保・育成が地区の諸課題の中で最重要。
- 助成対象者の経営方針は、農業者の高齢化・後継者不足に対応しながら、杉上地域を一農場と捉え、地域農業の維持及び農地の管理、保全等を実施し構成員共同の利益増進を図ること。また、若手を積極的に雇用し、将来の担い手の確保・育成に取り組んでおり、地域の今後を担うモデル的な経営体である。



助成対象者「農事組合法人 熊本すぎかみ農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成26年 法人設立
- 平成28年 熊本地震の影響で法人直営農地及び農作業受託面積が増加
- 平成29年 タマネギ直営栽培を開始(「すぎたまちゃん」としてブランド化を推進)
- 平成29年 大規模農地の効率的管理のためICTを活用したシステム(KSAS)を導入
- 令和2年 経営改善計画認定
- 新卒採用者の逡増及び定着率100%を継続中

《事業活用の背景》

○ 大規模営農のため適期の播種が重要であり、特に大豆においては2週間内での播種が必須。適期播種による品質向上や収量増、作業効率化による経営面積の拡大(もって雇用機会の創出)を図るため、播種用機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 付加価値額 82百万円
(売上高 507百万円)
- 経営面積(大豆) 161.9ha
- (大豆)播種作業時間(基肥含む)
0.29時間/10a

《事業による整備内容》

- カットロータリー 1台
事業費 2,316千円
(国費 1,052千円)
- ドリルシーダー 1台
事業費 3,401千円
(国費 1,546千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 付加価値額 110百万円
(売上高 535百万円)
- 経営面積(大豆) 180.6ha
- (大豆)播種作業時間(基肥含む)
0.12時間/10a
(作業時間効率200%超の改善)

事業の
効果

《対象者》 播種作業の合理化が収益の向上や経営規模(栽培面積・雇用)の拡大に寄与。
《地区》 地域農業への若手農業者の確保、定着。農地の集積・集約化の一層の推進。

